

事務事業及び予算の執行実績

(令和7年度分「一部、令和6年度分を含む」)

静岡県立中央特別支援学校

目

次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	1 8
学校施設の概要	1 9
在籍生徒調	2 1
入学志願者及び入学者数調	2 2
卒業生の動向調	2 3
生徒の状況	2 4
特別支援学校における生産物売払調	2 7
預金調	2 8
郵券等受払調	2 9
材料品受払調	3 0
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	3 1
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	3 1
委託料に関する調	3 2
負担金支出調	4 2
建築工事調	4 4
公有財産調	4 6
借地借家等調	4 7
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	4 7
行政財産貸付・使用許可調	4 8
主要備品調	4 9
公務中の事故等に関する調	5 0
工事中の事故等に関する調	5 1
職員調	5 2
職員の年齢調	5 8
健康管理	5 9

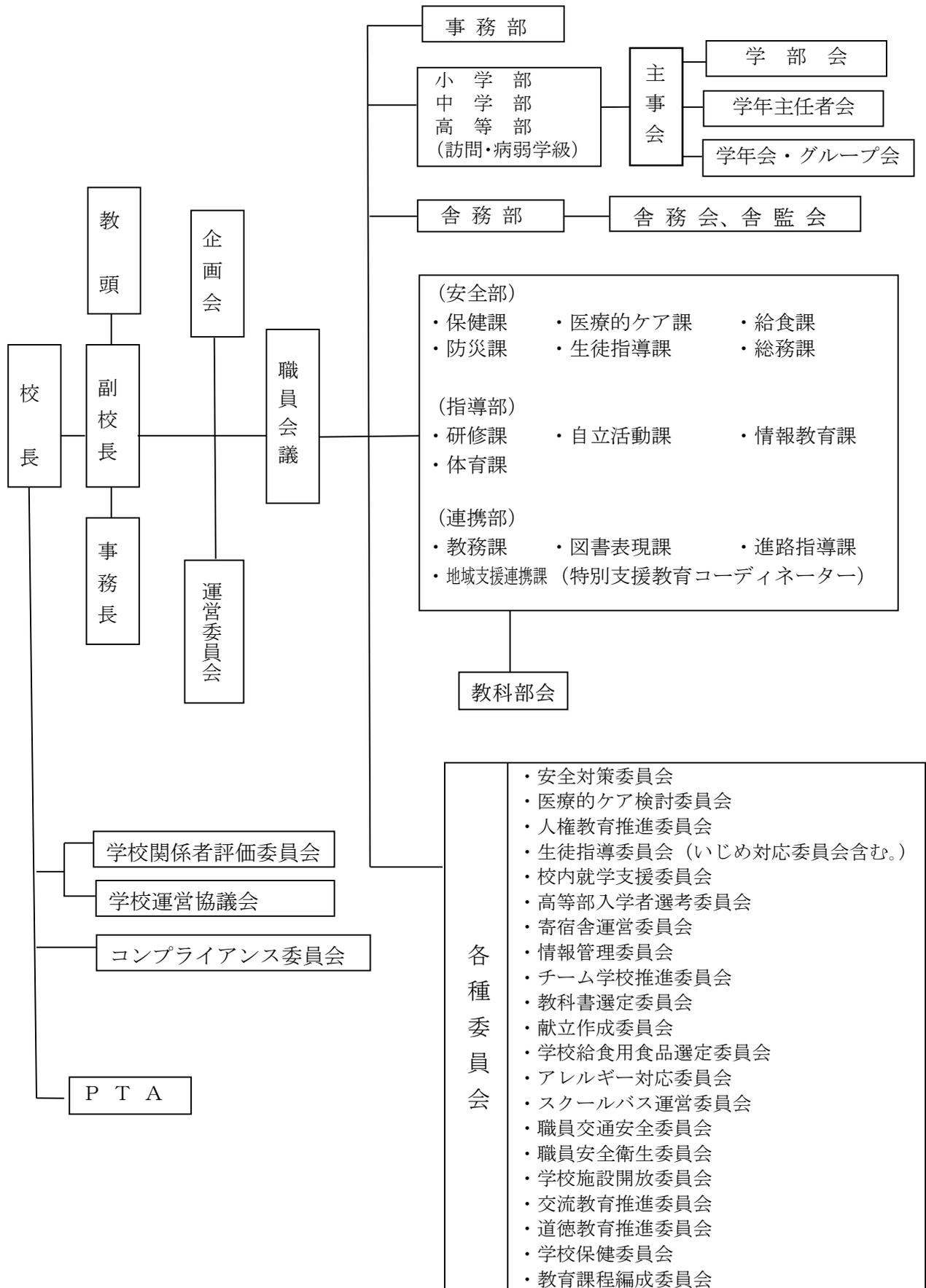
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

- 昭和33. 4. 1 静岡県立養護学校設立。静岡療護園の一部を仮校舎として発足
(静岡市小鹿1番地)
34. 5. 3 校舎第1期工事完成 (10教室 812.04 m²)
35. 4. 1 小学部6学級増級 (計15学級)
35. 6. 30 校舎第2期工事完成 (本館) (1,337.68 m²)
36. 4. 1 静岡県立養護学校天竜分校発足
39. 4. 1 天竜分校は静岡県立天竜養護学校として独立
39. 4. 1 静岡県立静岡養護学校と校名変更
39. 4. 1 静岡県立静岡養護学校西部分校発足
41. 4. 1 静岡県立静岡養護学校東部分校発足
45. 4. 28 高等部の開設 (静岡市曲金1丁目203-4)
46. 4. 1 高等部に寄宿舎設置 (県立静岡盲学校の寄宿舎の一部を借用)
49. 4. 1 静岡県立中央養護学校と校名変更
東部分校及び西部分校は、静岡県立東部養護学校及び静岡県立西部
養護学校として独立
50. 4. 1 新校舎第1期工事完成により移転 (静岡市漆山777) (6,458.00 m²)
小鹿校舎と2か所にて授業実施
53. 7. 15 新寄宿舎完成 (咸宜寮) (静岡市漆山777) (1,104.48 m²)
54. 4. 1 養護学校義務制に伴い訪問教育を開始
54. 6. 15 管理棟校舎増築工事完成 (687.20 m²)
55. 4. 1 小鹿校舎は静岡県立静岡南部養護学校として独立
57. 4. 1 県立こども病院・国立療養所静岡東病院に訪問教育新設
58. 9. 2 プール完成 (632.00 m²)
60. 3. 15 体育館完成 (629.37 m²)
61. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員20人を30人に改正
- 平成 3. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員30人を27人に改正
7. 3. 30 校舎棟小学部Bフロア便所増設工事完成 (31.11 m²)
11. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員27人を30人に改正
高等部訪問教育実施
11. 9. 30 耐震補強建設工事 (建築・電気・機械) 完成
(管理棟延1,146.49 m²、教室棟延5,729.16 m²)
12. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員30人を33人に改正
16. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員33人を30人に改正
17. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員30人を33人に改正
17. 4. 8 静岡てんかん・神経医療センター内に病弱学級開設
18. 4. 10 社会福祉法人・小羊学園つばさ静岡で訪問教育開始
19. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員33人を36人に改正
20. 4. 1 静岡県立中央特別支援学校と校名変更
学則一部改正、高等部生徒1学年定員36人を27人に改正
20. 11. 29 静岡県立中央特別支援学校創立50周年記念式典
21. 4. 8 県立こども病院に訪問教育開設
22. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員27人を33人に改正
24. 11. 14 校舎棟中学部外便所増設工事完成 (14.52 m²)
25. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員33人を30人に改正
27. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員30人を33人に改正
28. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員33人を30人に改正
30. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員30人を36人に改正
30. 11. 14 静岡県立中央特別支援学校創立60周年記念式典
31. 4. 1 学則一部改正 高等部生徒1学年定員36人を27人に改正
- 令和 2. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員27人を30人に改正
- 令和 6. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員30人を18人に改正
- 令和 7. 4. 1 学則一部改正、高等部生徒1学年定員18人を30人に改正

(2) 組織図校務分掌表



2 目指す学校像

「皆と共に 心豊かに たくましく 生きる力を育てる」

安全・安心な学校づくり

生きる力を育む授業実践

地域や社会に開かれた学校づくり

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等（重点目標はゴシック体で記載）

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価基準

A：成果を上げた

B：成果を上げつつある

C：あまり成果が上がっていない

D：成果が上がっていない

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
安 全 部	児童生徒の命と人権を守る取組の推進 (キラリ&ホット視点の浸透)	キラリ&ホットの視点を意識して全ての人権を尊重した言動を行うことができた 教員 100%	キラリ&ホットの視点を意識して全ての人権を尊重した言動を行うことができた 教員 97.9%	A	キラリ&ホットの発信や定期的な人権感覚の自己チェックによる効果が達成状況の高さにつながった。
	災害時、非常時における判断力、行動力、連携の向上につながる訓練・研修・振り返りの充実	自らの立場や役割の中で、あり得るリスクとリスク回避の行動を考えることができた と答える職員 90%	自らの立場や役割の中で、あり得るリスクとリスク回避の行動を考えることができた と答える職員 98.3%	A	実践的な研修や、短時間での実地訓練の複数回実施により、自らの行動をイメージして訓練を実施する教職員が増えた。
	安全で健康的な生活を送るための環境の充実	安全で健康的な生活を送るための環境づくりができた職員 90%以上	安全で健康的な生活を送るための環境づくりができた職員 99.9%	A	養護教諭による保健指導をとおして自身の健康や衛生を見直し、行動に移す生徒の姿がみられた。
	安心安全な医療的ケア実施体制づくり	教員、保護者、医療的ケア看護職員が、円滑な連携をして医療的ケアを実施することができた職員 100%	教員、保護者、医療的ケア看護職員が、円滑な連携をして医療的ケアを実施することができた職員 94.3%	A	円滑な連携体制が構築されてきている。来年度は直接的に医療的ケアを担当しない教職員への関心度向上に向けた情報発信にも取り組む。
	将来の豊かな生活に向けた食育の推進	「食に関する指導の全体計画」に基づいた年間指導計画に	「食に関する指導の全体計画」に基づいた年間指導計画に	A	掲示板の活用や、児童生徒が情報発信する昼の放送を継続す

安 全 部		沿って食に関する指導を実施し、児童生徒の食への興味関心を広げることができた職員 90%以上	沿って食に関する指導を実施し、児童生徒の食への興味関心を広げることができた職員 93.1%		る。来年度は、食育の視点を反映させた年間指導計画の作成・実施促進にも取り組む。
	児童生徒の実態に合った、安全で生活しやすい環境づくり	児童生徒の実態に合った生活しやすい教室環境について、意見交換をして改善することができた職員 90%以上	児童生徒の実態に合った生活しやすい教室環境について、意見交換をして改善することができた職員 95.2%	A	掲示板等を活用した情報提供・共有を継続しつつ、他分掌と連携し、多面的な視点での情報発信に取り組む。
	心理的安全性が感じられる学部、パート、寄宿舎の環境づくり	職員間の意見交換や保護者対応の場面で、傾聴や共感の姿勢を持った言動ができた職員 90%以上	職員間の意見交換や保護者対応の場面で、傾聴や共感の姿勢を持った言動ができた職員 92%	A	会議等で積極的に意見交換の時間を取り入れたことで、考えを伝え合う場面が増えた。来年度も同様の取組を継続する。
		毎週の教材研究日を有効に活用できた職員 90%以上	毎週の教材研究日を有効に活用できた職員 92%	A	会議一覧や、校内研修の情報整理を継続し、授業や指導支援に関する話し合いの時間を確保していく。
指 導 部	児童生徒の実態に応じた教育活動の計画、実践の推進	目標と評価の一体化を理解して、日々の教育活動を行っていると実感している教員 70%以上	目標と評価の一体化を理解して、日々の教育活動を行っていると実感している教員 99.1%	A	幾つもの分掌が連携し、話し合いや情報共有の時間を設けたことで高い達成率につながった。
	進路指導の視点を生かした日々の指導や支援の充実	進路指導の視点をもって個別の指導計画の作成・見直しや授業づくりができた職員 90%以上	進路指導の視点をもって個別の指導計画の作成・見直しや授業づくりができた職員 97.2%	A	学年やグループ単位での取組、通信や進路コーナーの活用により、進路指導の視点を意識した実践が増えた。

指導部	生涯スポーツにつながる教育活動の充実	児童生徒が生涯にわたってスポーツに親しむ姿を目指して「する・見る・支える・知る」の視点で指導ができた職員90%以上	児童生徒が生涯にわたってスポーツに親しむ姿を目指して「する・見る・支える・知る」の視点で指導ができた職員93.8%	A	スポーツへの興味関心や意欲を高めるための取組が増えた。来年度は、校内外の充実した実践紹介等を行い、実践の幅を広げるよう取り組む。
	児童生徒が力を最大限に発揮できるための授業におけるICT活用の試みの推進	指導においてタブレット端末、入出力支援機器の活用を実施できた職員70%以上	指導においてタブレット端末、入出力支援機器の活用を実施できた職員95.8%	A	ICT機器活用への意識が高まった。来年度は授業への活用を促進する情報発信や研修に取り組む。
	卒業後の「豊かな生活」を見据えた目標設定と、個々の実態に応じた根拠ある自立活動の指導の充実	自立活動の指導に関して、根拠を持って指導することができた職員80%以上	自立活動の指導に関して、根拠を持って指導することができた職員90.8%	A	専門家による学習会等の効果がみられた。来年度は学習会での学びを授業に生かす取組を行う。
	「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にした授業づくり、生活指導	取組目標にある3つの姿を明確にして授業づくりをした職員90%以上	取組目標にある3つの姿を明確にして授業づくりをした職員97.8%	A	個別最適な学びに関する意識が高まった。来年度は個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現できる授業づくりについて、教員間で語り合う場面を積極的に取り入れる。
連携部	地域や社会とつながり合う授業実践の成果の共有	学校と地域（麻機地区を含む静岡市、児童生徒の居住地区）間で、地域を生かした関わり（間接的な交流を含む）を実践できた職員90%以上	学校と地域（麻機地区を含む静岡市、児童生徒の居住地区）間で、地域を生かした関わり（間接的な交流を含む）を実践できた職員97.1%	A	今年度の取組を継続するとともに、来年度は交流及び共同学習の目的について児童生徒を主語として捉えることができるような取組を行う。
	社会との「つながり合い」と、生涯学習	本の読み聞かせ等の読書活動、外部団体	本の読み聞かせ等の読書活動、外部団体	A	地域等の様々な方たちとふれあう機会の

連携部	につながる教育活動の充実	を招いての鑑賞教室や各種作品展を通して社会と関わる事ができたといえる職員 90%以上	を招いての鑑賞教室や各種作品展を通して社会と関わる事ができたといえる職員 98.3%		設定が高い達成率につながった。来年度も同様の取組を継続する。
-----	--------------	--	--	--	--------------------------------

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安全全部	キラリ&ホットの視点に基づいた生徒指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> キラリ&ホットの視点の浸透を推進し、教職員に求められる倫理観や人権感覚を高めるための機会を設ける。 縦割り活動や児童生徒会活動を通して、児童生徒が持ち味を生かして自己表現したり、認め合えたりする場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> キラリ&ホットの視点を意識して人権を尊重した言動を行うことができた職員 100% 	生徒指導課
	安全な医療的ケアを実施するための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアに関する情報を、社会情勢や他分掌の取組等と関連させ、医療的ケア研修や掲示等で発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアに関心をもったり、安全に医療的ケアを実施したりすることができた職員 100% 	医療的ケア課
	安全で健康的な学校生活をおくるための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> キラリ&ホットやヒヤリ&ハットの情報をもとに日常生活における健康管理の視点を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された情報をもとに日々の学校生活に潜む危険に注意を向けることができた職員 90% 	保健課
	将来の豊かな生活に向けた計画的な食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食育の視点を反映させた年間指導計画の作成と、実施の推進を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、児童生徒の食への興味関心を広げる取組を行うことができた職員 90%以上 	給食課
	災害時、非常時における判断力、行動力、連携の向上につながる訓練・研修・振り返りの充実	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯に関する外部機関とのつながりを維持し、連携体制を確認したり助言を受けたりして災害時、非常時の対応力の向上を図る。 災害時や非常時を具体的に想定した図上訓練や実地訓練を行い、現状の防災、防犯体制の改善点を見出すとともに、防災課員が主導し、学部の教職員が災害時、非常時の最善の判断や行動について考える機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの立場や役割の中で、あり得るリスクとリスク回避の行動を考えることができた職員 90%以上 	防災課

安全部	児童生徒の実態に合った、安全で生活しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や児童生徒の頑張りが見える掲示を行う。 ・職員間で情報共有できるよう、地域支援連携課や図書表現課が担当する作品掲示の情報を提供する。 ・異なる視点で安全点検を行ったり、学部作業の際に生活環境の見直しを行ったりするよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に合った、生活しやすい教室環境を整えることができた職員 100% 	総務課
	自分の考えや意見を安心して発言できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の対話や語り合い、価値の共有を主とする会議や研修を適時実施する。 ・業務の見直しや精選を図り、授業や指導支援に関する話し合いの時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いにおいて、自身の考えや意見を安心して伝えられていると実感できた職員 100% 	主事会 チーム学校
指導部	「他者の考えから新たな視点や気づきを得て、自身の考えを広げ深める」という学びのある授業実践、生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の協働的に学んでいる姿や、それを引き出す指導、支援について説明できるよう、学部研修を運営する。 ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる校内の授業実践や外部の実践例を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びのさらなる充実と、協働的な学びを意識した授業づくり、生活指導を行うことができた職員 90% 	研修課
	ICT をツールとして活用する授業実践、生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの授業づくりへの直接的介入等による助言を行う。 ・目的に応じて ICT を効果的に活用している校内の授業実践や外部の実践例を定期的に紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT をツールとして活用した授業実践を行った職員 100% 	情報教育課
	他者と協働したり自分の考えを伝えたりする等、保健体育の見方・考え方で育成を目指す資質・能力を育む授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での充実した授業実践の紹介や外部の実践例の定期的な紹介 ・体育器具や ICT 等、効果的なツールの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の見方・考え方で育成を目指す資質・能力を育む授業実践を行うことができた、または授業実践の価値を答えることができた職員 90%以上 	体育課
	各教科等で育む資質・能力の育成を支える自立活動の指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会や巡回指導で学んだ内容の、教科等での生かし方を、学年やグループに提案していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の視点での学びを教科等の授業実践で生かすことができた職員 90%以上 	自立活動課
連携部	地域資源を活用した学習や、地域の学校との関わりの推進と学びの効果の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域とつながる授業実践シート」を活用し、地域資源を紹介する。 ・作品づくりの参考となるよう、作品展での感想を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に発信することを考えて、作品づくりをしたり、つながりを実感したりすることができた職員 90% 	地域支援連携課 (図書表現課)

連 携 部	保護者や関係機関、地域と連携し、課題解決を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校のセンター的機能として、他校や市町との関係機関と連携する。 ・学部コーディネーターが連携し、各学部の課題に対してケース会議や教育相談を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、関係機関、地域との連携を図ることができたり、連携していることを知ったりすることができた職員 80%以上 	地域支援連携課 (学部コーディネーター)
	地域との連携等を意識した個別の教育支援計画の作成計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画について、研修や目標評価確認日等を活用して理解を深め、面談等を通じて本人、保護者と共に内容の充実を図る。 ・個別の教育支援計画の円滑なデータベース化と関係機関と共有すべき情報の精選を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携することを意識して個別の教育支援計画を作成することができた職員 80%以上 	教務課
	現在や将来の豊かな生活を目指すための関係機関との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の事前・事後アンケートを取り、計画・運営し、研修後の支援・指導に活かせるようにする。 ・教務課と連携し、「目標・評価確認日」に各学部で生活面が気になる児童生徒やその家庭について、校内の関係者で話し合い、必要に応じてケース会議につなげる。 ・必要な情報を進路コーナーや進路便り、掲示板、ホームページを活用して紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携や関わりから、児童生徒の現在や将来の豊かな生活を目指し、支援・指導することができた職員 90%以上 	進路指導課
	社会とつながる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしの会」や読み聞かせ、電子図書の活用等、読書活動の推進を行い、児童生徒の好きな本を校内や地域に発信する。 ・作品展への出展、ホームページ上での作品紹介を行うとともに、校内外の鑑賞教室の計画や紹介を行い、地域の方から感想をもらうなどの交流を企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での図書紹介や各種作品展をとおして社会と関わることができたといえる職員 90%以上 	図書表現課

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
	児童生徒の命と人権を守る取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、児童生徒に対して実施したキラリ&ホットキャラクターの募集プロジェクトは、児童生徒の心の成長や友だちとの結びつきに限定せず、学校に関わるすべての人の人権意識の向上をも目指して進めた。学校行事内でも、キラリ&ホットについて広く発信していく機会を設けることができた。 ・グループごとの人権トークや目標の設定とともに、全校での研修等を通じて定期的に振り返る機会を設定した。一人一人を大切にす風通しのよい職場を目指すことで、学校が子どもの気持ちや人権に配慮した適切な関わりをしていると保護者が感じることができた。
	児童生徒の実態に合った生活しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・図書表現課を中心に、校内展示ギャラリーの有効活用を推進することができた。各教室環境の工夫点の紹介から、児童生徒の生活しやすい環境について課の内外で検討が進み、子どもの意欲を引き出す環境づくりに取り組むことができた。
6年度	「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にした授業づくり、生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・三年目を迎える今年度は、研修のキーワードを「想定し(=Plan 実態把握→目標設定→授業計画)、仕掛けて見取り(=Do 日々の授業実践)、評価して(=Check 学習評価、指導評価)、次への一手を考える(=Action 改善)」とした。このことで、子どもを主語とした「想定」の重要性、また、評価規準と基準の違いや活用の意図等への理解を深め、授業計画していきたいという姿勢を持つことができた。 ・学びの想定シートの活用と実態に応じた評価規準・基準の効果的な用い方については、授業研究を通して軌道修正しながら指導と評価を一体化させる授業づくりを推進することができた。
	「将来の豊かな生活」を見据えた目標設定と、個々の実態に応じた根拠ある指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より継続して作業療法士及び理学療法士の巡回指導を設定した。実態に応じた身体の使い方や姿勢について学び、その内容を各学部内で共有し、他学部へも情報発信して指導の充実を図ることができた。 ・教材教具展を企画し、様々な教材教具を紹介し合うことかでき、教員が興味を持って学ぶ姿が見られた。
	生涯スポーツにつながる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「する・見る・支える・知る」の視点での教育活動の充実を目指し、各学部や全体掲示板、体育課の連絡ボードに生涯スポーツの写真と説明文を掲示し発信した。4つの視点から生涯スポーツにつなげる授業実践に取り組み、教育活動の充実を図ることができた。
	地域や社会とつながり合う授業実践の成果の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部、寄宿舎で地域や社会と「つながり合う」授業を実施し、実践シートにまとめ共有した。 ・年度当初から、交流籍制度を活用した居住地校との交流及び共同学習を計画し、できる限り直接交流ができるよう取り組んだ。居住地での児童生徒とのつながり合いに広がりを持てるよう引き続き取り組んでいきたい。 ・地域の方と連携・協働することを通して、児童生徒の学びの幅を広げることができた。
	キラリ&ホットの視点に	<ul style="list-style-type: none"> ・キラリ&ホットの視点の浸透を推進し、教職員が今で

年度	取組概要	成果及び課題
7年度	基づいた生徒指導の推進	<p>きていることを認め合う機会を設けた。後期は、教職員に求められる倫理観や人権感覚を高めるための機会を設け取り組みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦割り活動や児童生徒会活動を通して、前期は縦割りのグループで自己紹介を行った。後期は、児童生徒が持ち味を生かして自己表現したり、認め合えたりする場面を設定し進めていきたい。
	児童生徒の実態に合った、安全で生活しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容や児童生徒の頑張りが分かる掲示を行っている。 職員間で情報共有できるよう、後期も地域支援連携課や図書表現課が担当する作品掲示の情報を提供していく。
	「他者の考えから新たな視点や気づきを得て、自身の考えを広げ深める」という学びのある授業実践、生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の協働的に学んでいる姿や、それを引き出す指導、支援について意見を交換し合い、情報共有している。今後は授業づくり、授業実践に生かしていきたい。 前期は協働的な学びとはどんな姿なのかを検討してきた。後期は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる校内の授業実践や外部の実践例を紹介していく。
	各教科等で育む資質・能力の育成を支える自立活動の指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学習会や巡回指導で学んだ内容を共有することができた。後期は、教科等での生かし方を、学年やグループに提案していく。
	地域資源を活用した学習や、地域の学校との関わりの推進と学びの効果の発信	<ul style="list-style-type: none"> 「地域とつながる授業実践シート」を活用し、地域資源を紹介している。後期は活用していきたい。 作品づくりの参考となるよう、作品展での感想を共有している。今後の作品づくりに生かしていきたい。
	社会とつながる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「おはなしの会」や読み聞かせや校内図書の読書活動の推進を行った。後期は、電子図書の活用等で児童生徒の好きな本を校内や地域に発信していきたい。 作品展への出展、ホームページ上での作品紹介を行うとともに、校内外の鑑賞教室の計画や紹介を行った。地域の方から感想をもらうなどの交流を企画していく。

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位:人)

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員											合計				
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任)	教諭(臨)	寄宿舎指導員(任)	寄宿舎指導員(臨)	非常勤講師	非常勤寄宿舎指導員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	医療的ケア看護職員	スクールカウンセラー		臨時計			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任寄宿舎指導員	寄宿舎指導員	小計	事務長	主査	主任														主事	主任(栄養職員)	小計
転出者			1	29	1		31					1	1	32											0	32	
退職者				1		1	2						0	2	5	4	1	2				2	1			15	17
再任用(退職)				2			2						0	2											0	2	
転入者				27	1	2	30					1	1	31	3										3	34	
新任者			1	7			8						0	8	1	5					3				9	17	
再任用(新任)				1		1	2						0	2											0	2	
差引増減	0	0	0	3	0	2	5	0	0	0	△1	1	0	5	△1	1	△1	△2	0	0	1	△1	0	0	△3	2	

(2) 現員数

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員											合計				
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任)	教諭(臨)	寄宿舎指導員(任)	寄宿舎指導員(臨)	非常勤講師	非常勤寄宿舎指導員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	医療的ケア看護職員	スクールカウンセラー		臨時計			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任寄宿舎指導員	寄宿舎指導員	小計	事務長	主査	主任														主事	主任(栄養職員)	小計
男	1			37			5	43	1	1				2	45	3	5		1				3			12	57
女		1	1	80	2	2	1	87		1	1		1	3	90	6	8			3		8	1	12	1	39	129
計	1	1	1	117	2	2	6	130	1	2	1	0	1	5	135	9	13	0	1	3	0	11	1	12	1	51	186

(3) 健康管理について

	令和6年度	令和7年度（令和7年9月30日現在）
実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断の実施 結核検診、生活習慣病健診、婦人科検診、脳ドック、人間ドック、指定年齢健診、腰痛健康診断、情報機器作業従事者健康診断 日常の健康管理 腰の負担を軽減する指導（学部研修） 腰痛予防体操（毎朝、部ごと） 定時退勤日（毎週水曜日）の徹底 健康相談（超過勤務者、希望者） 職員安全衛生委員会 11回 学校保健委員会の開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断の実施 結核検診、生活習慣病健診、婦人科検診、脳ドック、人間ドック、指定年齢健診、腰痛健康診断、情報機器作業従事者健康診断 日常の健康管理 腰の負担を軽減する指導（学部研修） 腰痛予防体操（毎朝、部ごと） 定時退勤日（毎週水曜日）の徹底 健康相談（超過勤務者、希望者） 職員安全衛生委員会 5回 学校保健委員会の開催 0回（1月予定）

ア 教職員の健康管理については、不調がある時には積極的に受診させ、疾病の早期発見、早期治療に努めるなどの配慮を行っている。感染の恐れのある疾病については、保健室への連絡の徹底を呼び掛け、各部で感染症情報の共有を図っている。

イ 健康診断の事後措置においては、再検査や精密検査指示者に対して確実に受診するように勧告している。

ウ 希望者に対して、健康管理医による健康相談を行っている。

エ 感染症予防のため、マスク着用と手洗い、手指の消毒を励行している。また、インフルエンザ予防接種については個別接種で行っている。

オ 男女別休養室と休憩室を整備し、利用しやすい環境を整えている。

カ 健康診断等の実施状況（令和6年度）

項目	対象者	対象者数	受診者数	受診率
結核検診	全職員（指定年齢検診、人間ドック受診者及び特別休暇中の者は除く。）	64人	59人	92.1%
生活習慣病検診			62人	96.8%
指定年齢検診	40歳、45歳、50歳、55歳、59歳	20人	20人	100.0%
人間ドック	35歳、38歳、41～44歳、46～49歳、51～54歳、56～58歳及び60歳以上の希望者	50人	49人	98.0%
単独婦人科検診	20歳以上 偶数年齢	16人	12人	75.0%

*未受診者 結核：育休・妊娠中、生活：育休中、人間：育休中、婦人：育休中

キ 健康診断等の実施状況（令和7年度）

（令和7年9月30日現在）

項目	対象者	対象者数	受診者数	受診率
結核検診	全職員（指定年齢検診、人間ドック受診者及び特別休暇中の者は除く。）	76人	65人	85.5%
生活習慣病検診			73人	96.0%
指定年齢検診	40歳、45歳、50歳、55歳、59歳	10人	9人	90.0%
人間ドック	35歳、38歳、41～44歳、46～49歳、51～54歳、56～58歳及び60歳以上の希望者	49人	37人	75.5%
単独婦人科検診	20歳以上 偶数年齢	28人	23人	82.1%

*未受診者 結核：育休・妊娠の可能性、生活：育休中、婦人：育休中・受診日前
指定：受診日前、人間：受診日前、婦人：育休中

(4) 教職員の研修について
目標及び成果と課題

令和6年度		令和7年度	
目的	内容・成果・課題	目的	内容・成果・課題
一人一人の育成を目指す資質・能力（生きる力）を育むために、「何ができるようになるか」を「将来の豊かな生活を見据え、育てたい力」として明確にする。そこを目指し、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明らかにした授業づくり、生活指導をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを継続して三年目となり、まとめの年となった。 ・授業づくりでは、「学びの想定シート」への記入をすることで、子どもの思考の動きを想定し、どんな学び方をするのかを抑えながら、小単元毎の授業計画を立てることができた。それにより形成的評価から授業改善が行われており、個別の指導計画等の内容に立ち返っての軌道修正に取り組むことができた。 ・事前研修においては、将来を見据えた内容、現在の実態だけでなく指導要領を根拠として評価規準の妥当性を協議するよう取り組んだ。 ・各学部での事後研修においては、目標に至ったか否かだけではなく、なぜその姿に至ったのかの分析を評価規準や基準等に照らしながら学びの過程を見直した。どのように思考を動かしてきたか、どんな学び方をしてきたのか、どういった支援がどのように作用したかといったところまでPDCA サイクルで協議して深め合うことができた。 ・ベテランの若手育成を重点とした授業づくり研修会も3年目を迎えた。外部講師による講義、事例持ち寄り協議、まとめ(グループワーク付)の年3回で構成した。若手の納得感が得られるような根拠の示し方や伝え方を、寄り添いの姿勢で進めることが大切であると学ぶことができた。 	「他者の考えから新たな視点や気づきを得て、自身の考えを広げ深める」という学びのある授業実践、生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの実践により「学びの過程」すなわち思考の働く過程の姿を認めていくことができ、児童生徒の学びが深く、確実なものになっていることを教師が評価、確認することができるようになった。そこで今年度から「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現した授業づくりを行う。 ・本校において「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業とは、児童生徒が「他者の考えから新たな視点や気づきを得て、自身の考えを広げ深める」ことである。学びのある授業づくり、子どもが主体となる学習を目指して取り組んでいる。 ・授業、生活指導の実践から、協働的な学びの姿やそれを引き起こした指導、支援を挙げ、類型ごと協働的な学びを整理している。 ・整理した協働的な学びやそれを引き起こした指導、支援を踏まえ、実態と将来の豊かな姿、単元・題材目標、指導、支援を考えた授業づくり、生活指導を行う。 ・外部講師を招いて、ファシリテーターの育成を行っている。今後、先生方の思いや困り感を引き出すことができるように意見を聞く機会を設けたり、次々に入ってくる情報を精選しわかりやすく伝えることができるよう議題を早めに提示するなど、意識して取り組んでいく。 ・自立活動課で作業療法士を招いて巡回指導を行い、身体の動きの改善についての
肢体不自由教育・病弱教育に関する専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の指導に関して根拠を持って指導できる教員の育成に取り組んだ。 ・身体の動きの改善についての考え方や個に応じた技術を学ぶ機会を作りたいと考え、作 		

令和6年度		令和7年度	
目的	内容・成果・課題	目的	内容・成果・課題
	<p>業療法士(年6回)と理学療法士(年2回)の巡回指導を設定して専門性の向上に努めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や介助方法等直接指導いただくことで、個々の日々の自立活動に活かすことができた。その内容を学年や学部で共有し、日々の指導に活かすことができた。 自立活動課主催の研修会では、初任者・新任者と希望者を対象としたが、多数の職員が集まり、ニーズの高さを実感した。自立活動課の目指す「根拠を持って指導できるために」につながる職員の姿と捉えた。研修会設定だけでなく「根拠のある目標や指導」について、各学年や各グループや有志でサポートし、協議して明確にしていきたい。 教材教具展を夏季休業中に開催できた。 	<p>肢体不自由教育・病弱教育に関する専門性の向上</p>	<p>考え方や個に応じた技術を学ぶ機会を設け、学習会で共有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部から講師を招聘し、身体のことや認知発達、障害についての学習会を設定し、専門性の向上に努めている。 摂食指導についても、外部から巡回指導で指導を受けている。 夏季休業中に看護師の資格を持つ自立活動教諭を講師として、姿勢や介助方法等の学習会を設けた。後期は、個々の日々の自立活動に活かしていきたい。 自立活動課から自立活動だけでなくで情報発信するだけでなく、外部講師や巡回指導の際に受けた指導内容を掲示板で伝えたり、撮った映像を活用して学習会を設けたりしている。また、他の児童生徒にも応用して指導するよう促している。

6 防災対策について

(1) 目標及び成果と課題

令和6年度		令和7年度	
目的	内容・成果	目標	成果と課題
災害時・非常時における判断力、行動力、連携の向上につながる訓練・研修・振り返りの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・引渡し訓練は円滑に行うことができたが、天候不順による緊急の引渡しで課題が生じた。企画会、部主事会で教育活動実施基準と引き渡し体制の整理について協議し改善を図った。 ・夏季防災研修では、外部講師より助言を得て、児童生徒学校留め置き時の業務について優先事項や留意点を学んだり、救護所運営に関する知識を得たりすることができた。また、実際に組み立てたり、作ったりする活動に対して職員が意欲的に取り組むことができた。 ・不審者対応訓練では、警察からの助言を受けたことを掲示板で共有し、今後の生活でも対応できるよう周知した。 ・課題としては、学校留置き体制、不審者侵入時の体制及び危機管理体制について振り返りで得た意見等を基に、改善をしていくとともに、作成している役割カードに反映した。 	災害時・非常時における判断力、行動力、連携の向上につながる訓練・研修・振り返りの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・引渡し訓練は円滑に行うことができた。しかし、教員の配置と役割で課題が見つかったため、今後更に円滑に行えるように、計画の人員を1名増やした。 ・夏季防災研修では、児童生徒学校留め置き時の、物資班と支援班の業務について確認した。役割カードを見ながら、発災時に実際に行動できるか確認をし、グループごと振り返りを行った。振り返りで出た課題を基に、役割カードの修正を行った。また、救護班は、発災時の対応や物資の確認を行った。 ・不審者対応訓練では、不審者対応研修で警察から受けた助言を基に、不審者への対応と情報伝達と確認を行った。課題は、授業中に行ったため、不審者が侵入した情報が伝わりにくいことが確認された。 ・火災避難訓練では、発災場所に合わせて、避難場所を臨機応変に変更した。今年度は、体育館に避難を行った。

(2) 防災訓練・防災研修

令和6年度	令和7年度
危機管理（全体防災）研修（年1回） 初期消火訓練（年1回） 不審者対応研修（年1回） 学校留置き対応研修（年1回） 地震避難訓練・火災避難訓練（各1回） 引渡し訓練（年1回） ミニ訓練（年4回、不審者対応訓練を含む。） 災害伝言ダイヤル体験（年1回） 非常食体験（年1回） 防犯研修（年1回） 緊急搬送訓練（各部1回） 寄宿舎避難訓練（年4回、別途防災オリエンテーション、訓練まとめ各1回） 寄宿舎防犯研修（年1回） 病院内学級避難訓練（パートごと年2～3回） 病院内学級引き渡し訓練（各施設年1回） AED使用法講習会	危機管理（全体防災）研修（年1回） 初期消火訓練（年1回） 不審者対応研修（年1回） 学校留置き対応研修（年1回） 地震避難訓練・火災避難訓練（各1回） 引渡し訓練（年1回） ミニ訓練（年4回、不審者対応訓練を含む。） 災害伝言ダイヤル体験（年1回） 非常食体験（年1回） 防犯研修（年1回） 緊急搬送訓練（各部1回） 寄宿舎避難訓練（年4回、別途防災オリエンテーション、訓練まとめ各1回） 寄宿舎防犯研修（年1回） 病院内学級避難訓練（パートごと年2～3回） 病院内学級引き渡し訓練（各施設年1回） AED使用法講習会

(3) 防災教育

	令和6年度	令和7年度
全 校	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練及び事前・事後指導 ・非常食体験 ・ミニ訓練（予告なし含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練及び事前・事後指導 ・非常食体験 ・ミニ訓練（予告なし含む）
小学部	（教科・生活・自立グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災の避難の仕方と約束 ・発災時の安全確保行動について ・地震の動画の視聴と話し合い 	（教科・生活・自立グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・スモークハウス体験 ・発災時の安全確保行動の標語「さあスタート」について ・地震防災センターへの校外学習 ・地震や風水害の動画の視聴と話し合い
中学部	（教科グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・机の下に隠れることのできない生徒の安全確保行動 ・火災時の対策について （生活グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保行動について ・過去の災害から学ぶ （自立グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・独自の避難訓練で経路を確認 	（教科グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の行動や、必要物を考える。 ・放送や教師の指示に従って行動する。 ・周りの状況を理解し安全を確保する。 （生活グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の約束を守って行動する。 ・緊急時に自分の身を守ろうとする。 （自立グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて訓練に参加する。
高等部	（職業グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の避難について ・減災対策について （生活グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・発災時の安全行動の実践 ・避難生活に必要なことについて ・非常食を自分で準備しよう （自立グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・歌にのせて安全行動を確認 ・避難時の約束確認 ・防災頭巾やマスクの体験 ・寝袋や非常食体験 	（職業グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の避難について ・減災対策について （生活グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・発災時の安全行動の実践 ・避難生活に必要なことについて ・非常食を自分で準備しよう （自立グループ） <ul style="list-style-type: none"> ・歌にのせて安全行動を確認 ・避難時の約束確認 ・防災頭巾やマスクの体験 ・寝袋や非常食体験
訪問教育	（おおぞら学級） <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（実際に院内を歩き、避難場所を児童生徒と確認） （つばさ学級） <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ避難訓練（地震発生時に転倒しそうなもの、呼吸器の取り扱いなど、看護師と確認） （きらら学級） <ul style="list-style-type: none"> ・防災DVDを見たり、話をしたりしながら災害時の動きについて学習 （そよかぜ学級） <ul style="list-style-type: none"> ・本校での火災避難訓練参加 ・こども病院と連携して引き渡し訓練の実施 	（おおぞら学級） <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（実際に院内を歩き、避難場所を児童生徒と確認） （わかくさ学級） <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（教員が避難経路実際に歩いて確認し、段差の有無や効率的な避難経路などを確認した） （つばさ学級） <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ避難訓練（地震発生時に転倒しそうなもの、呼吸器の取り扱いなど、看護師と確認） （きらら学級） <ul style="list-style-type: none"> ・防災DVDを見たり、話をしたりしながら災害時の動きについて学習 （そよかぜ学級） <ul style="list-style-type: none"> ・本校での火災避難訓練参加 ・こども病院と連携して引き渡し訓練の実施

7 学校開放について

地域に開かれた学校を目指し、学校運営に支障のない範囲内で可能な限り学校施設を地域住民や関係機関に開放した。

施設開放の実績

【令和6年度】

施設	利用種目	利用日数	利用者数	利用者負担金 (電気・ガス使用料)
体育館	空手	5日	10人	5,437円
	踊り	5日	127人	
	バドミントン	25日	146人	
	防災サバイバルキャンプ	1日	15人	
自立活動室	静的弛緩誘導法学習	9日	115人	8,100円
	心理療育訓練	11日	339人	
計		56日	752人	13,537円

【令和7年度】

(令和7年9月30日現在)

施設	利用種目	利用日数	利用者数	利用者負担金 (電気・ガス使用料)
体育館	踊り	5日	155人	19,481円
	バドミントン	43日	302人	
	バレー	16日	133人	
自立活動室	静的弛緩誘導法学習	6日	75人	5,661円
	心理療育訓練	7日	293人	
計		77日	958人	25,142円

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第74条、第76条、第77条、第78条、第79条、第82条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第13条、第22条、第23条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱

学校施設の概要

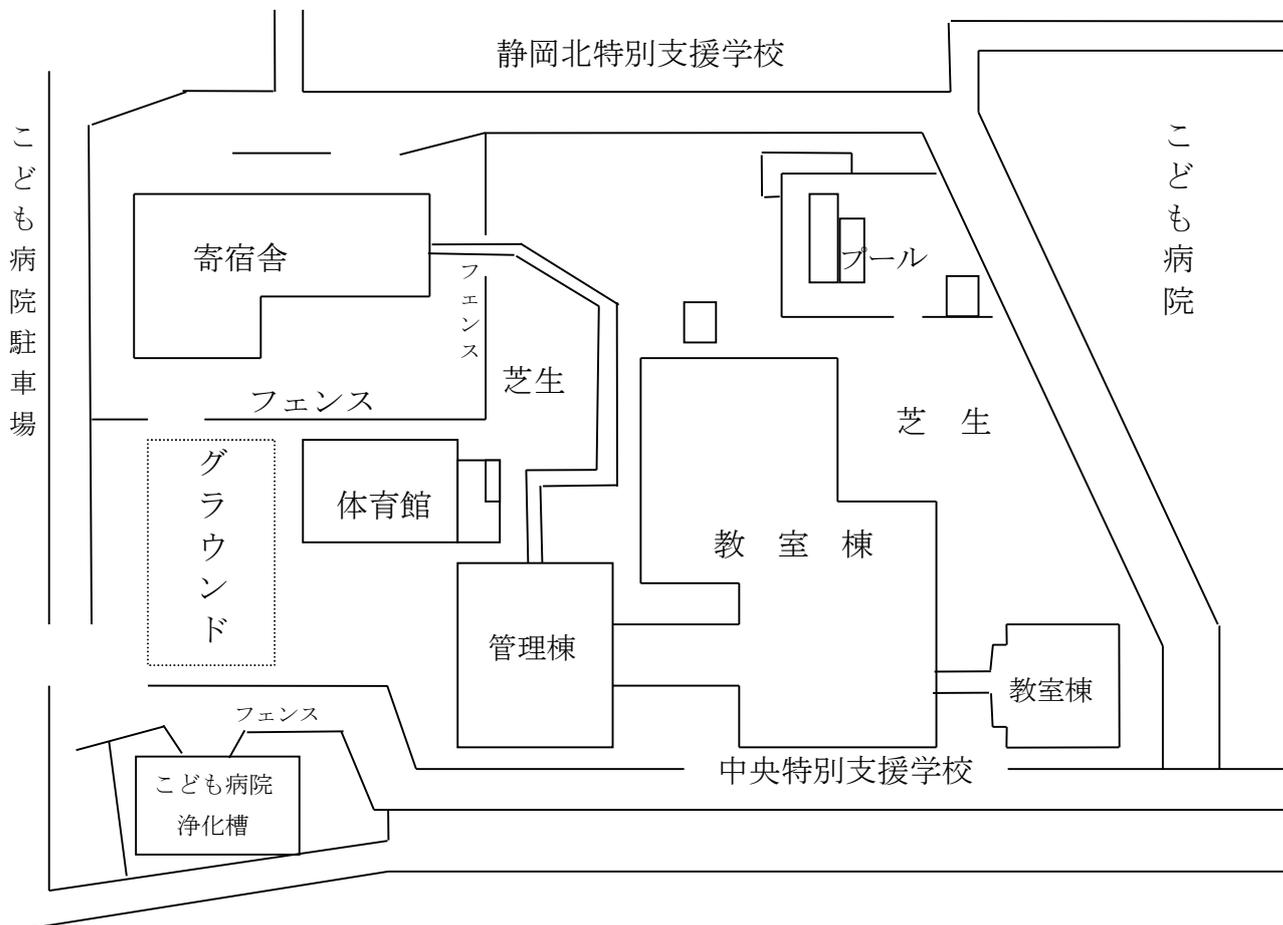
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県有 m ²	国有 m ²	市町 村有 m ²	後援 会有 m ²	民有 m ²	
学校敷地	19,029.00					19,029.00	地方独立行政法人 静岡県立病院機構
内 訳	校舎敷地	10,409.13				10,409.13	
	運動場敷地	2,637.00				2,637.00	
	その他の敷地	5,982.87				5,982.87	
校 舎	建 4,061.43	建 4,061.43					
	延 7,245.98	延 7,245.98					
体 育 館	建 633.10	建 633.10					
	延 629.37	延 629.37					
その他の建物	建 206.97	建 206.97					
	延 204.37	延 204.37					
寄 宿 舎	建 1,256.24	建 1,256.24					
	延 1,104.48	延 1,104.48					
プ ー ル	632.00	632.00					プール本体含む プールサイド面積

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	19,029.00m ²	7,245.98m ²	2,637.00m ²
県平均	19,266.88m ²	6,361.36m ²	5,302.07m ²

在 籍 生 徒 調

(令和7年9月30日現在)

学年	学部別 区分	小学部			中学部			高等部			病弱学級 (小学部)			病弱学級 (中学部)			訪問教育 (小学部)			訪問教育 (中学部)			訪問教育 (高等部)				
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計												
1年	入学者	3	5	8	7	5	12	30	8	11	19	0	1	2	2	2	4	1	3	4	2	0	2		1	0	1
	増加			0			0				0	1	1	2	2	1	3	1	3	4	1	0	1				0
	減少			0			0				0	1	1	2	2	1	3	1	3	4	1	0	1				0
	現在	3	5	8	7	5	12	30	8	11	19	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
2年	入学者	9	0	9	5	2	7	18	6	2	8	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2	2		2	0	2
	増加			0			0				0	3	2	5	1	1	2	5	3	8	3	2	5				0
	減少			0			0				0	3	2	5	0	1	1	3	2	5	2	2	4				0
	2年時当初	9	0	9	5	2	7	18	6	2	8	0	0	0	3	0	3	2	1	3	1	2	3	0	2	0	2
	増加	1		1			0				0	2	1	3	1	1	2	1	2	3	2	3	5				0
	減少	1		1			0				0	1	1	2	2	1	3	2	0	2	1	1	2				0
	現在	9	0	9	5	2	7	18	6	2	8	1	0	1	2	0	2	1	3	4	2	4	6	0	2	0	2
3年	入学者	3	1	4	5	4	9	30	8	7	15	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		4	1	5
	増加			0			0			0	0	4	4	0		0	3	1	4	1	4	5				0	
	減少			0			0			0	0	4	4	1		1	2	1	3	1	1	2				0	
	2年時当初	3	1	4	5	4	9	30	8	7	15	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	3	0	4	1	5
	増加			0			0			0	3	2	5	3	0	3	1	0	1	2	7	9				0	
	減少			0			0			1	1	3	2	5	3	0	3	1	0	1	1	8	9			0	
3年時当初	3	1	4	5	4	9	30	8	7	15	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	3	0	4	1	5	
増加			0			0				0	3	2	5	0	2	2	0	0	0	2	5	7				0	
減少			0			0				0	2	2	4	0	1	1	1	0	1	1	0	1				0	
	現在	3	1	4	5	4	9	30	7	7	14	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	7	9	0	4	1	5
4年	入学者	7	4	11								0	0														
	増加			0								1	2	3				0	1	1							
	減少			0								1	2	3				0	1	1							
	2年時当初	7	4	11								0	0	0				0	1	1							
	増加			1	1							4	0	4				1	1	2							
	減少			1	1							1	0	1				1	2	3							
	3年時当初	6	5	11								3	0	3				0	0	0							
	増加			0								3	3	6				1	1	2							
	減少			0								6	3	9				1	1	2							
	4年時当初	6	5	11								0	0					0	0	0							
	増加			0									2	2				1		1							
	減少			0								0	1	1				1	0	1							
	現在	6	5	11							0	1	1				0	0	0								
5年	入学者	4	3	7								0	0														
	増加			0								1	1	2				1	1								
	減少			0								1	0	1				0	0								
	2年時当初	4	3	7								0	1	1				1	0	1							
	増加			1	1							1	1	2				1	1								
	減少			1	1							1	2	3				1	1	2							
	3年時当初	4	3	7								0	0					0	0	0							
	増加			1	1	2						1	1	2				1	0	1							
	減少			0								1	1	2				0	0	0							
	4年時当初	5	4	9								0	0	0				1	0	1							
	増加			0								1	1	2				2	0	2							
	減少			0								1	1	2				1	0	1							
	現在	5	3	8							0	0	0				1	0	1								
6年	入学者	6	5	11								0	0														
	増加			0								1	1	2				3		3							
	減少			0								0	1	1				3		3							
	2年時当初	6	5	11								1	0	1				0	1	1							
	増加			1	1							0	1	1				0	2	2							
	減少			0								1	1	2				2	2								
	3年時当初	7	5	12								0	0	0				0	1	1							
	増加			0								2	0	2				1	2	3							
	減少			0								2	0	2				1	2	3							
	4年時当初	7	5	12								0	0	0				0	1	1							
	増加			0								1	1	2				1	0	1							
	減少			0								1	1	2				0	0	0							
	現在	7	5	12							0	0	0				1	1	2								
増加			1	1							0	0	0				0	1	1								
減少			0								2	0	2				0	0	0								
	現在	8	5	13							0	0	0				0	2	2								
合 計		34	19	53	17	11	28	78	21	20	41	2	1	3	3	2	5	2	5	7	5	11	16	0	7	1	8

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		30 (0)	30 (0)	30 (0)	18 (0)	30 (0)
募集定員 (B)		30 (0)	30 (0)	30 (0)	18 (0)	30 (0)
志願者数	男	13 (0)	13 (0)	12 (0)	8 (0)	8 (0)
	女	7 (0)	7 (0)	8 (0)	2 (0)	11 (0)
	計(C)	20 (0)	21 (0)	20 (0)	10 (0)	19 (0)
受検者数	男	13 (0)	14 (0)	12 (0)	8 (0)	8 (0)
	女	7 (0)	7 (0)	8 (0)	2 (0)	11 (0)
	計(D)	20 (0)	21 (0)	20 (0)	10 (0)	19 (0)
合格者数	男	13 (0)	14 (0)	12 (0)	8 (0)	8 (0)
	女	7 (0)	7 (0)	8 (0)	2 (0)	11 (0)
	計(E)	20 (0)	21 (0)	20 (0)	10 (0)	19 (0)
志願倍率 (C)/(B)		0.67	0.70	0.67	0.56	0.63
受検倍率 (D)/(B)		0.67	0.70	0.67	0.56	0.63
入学者数	男	13 (0)	14 (0)	12 (0)	8 (0)	8 (0)
	女	7 (0)	7 (0)	8 (0)	2 (0)	11 (0)
	計(F)	20 (0)	21 (0)	20 (0)	10 (0)	19 (0)
充 足 率 (F)/(A)		0.67	0.70	0.67	0.56	0.63

() は再募集

卒業生の動向調

区 分		中学部	高等部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				0
	定時制				0
	通信制				0
特別支援学校高等部		13			13
その他の高等学校					0
大学等	大学(学部)				0
	短期大学(本科)				0
	大学・短大の通信教育学部等				0
	その他大学等				0
特別支援学校高等部専攻科					0
専修学校(専門課程)					0
専修学校(一般課程)・各種学校					0
公共職業能力開発施設等					0
就 職					0
上記以外※			14		14
不詳・死亡					0
計(卒業生総数)		13	14	0	27

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高等部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設					
障害者支援施設			14		14
	(うち就労系支援事業利用者)	()	(4)	()	(4)
医療機関					
計		0	14	0	14

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	静岡市	焼津市	富士市	藤枝市	磐田市	伊豆市	その他	合計
生徒数	112	3	2	3	0	0	2	122
構成比%	92%	2%	2%	2%	0%	0%	2%	100.0%

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	自家用車	自家用車 スクール バス併用	スクー ルバス	スクー ルバス公共 交通機関 併用	公共交 通機関	施設送 迎バス	徒歩	寄宿舎	合計
生徒数	47	62	0	0	1	7	0	5	122
構成比%	39%	50%	0%	0%	1%	6%	0%	4%	100.0%

(3) 病弱学級の状況 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

病弱学級教員等		市町	静岡市	島田市	富士市	その他	県外	計
小中 学部	教諭	3	小学部	0	0	0	3	3
	教諭 (任・臨)	2	中学部	1	0	0	1	5
計		5	計	1	0	0	1	8

(4) 訪問教育の状況 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

訪問教員等		市町	静岡市	島田市	富士市	その他	県外	計	
小中 学部	教諭	8	小学部	3	0	0	4	7	
	教諭 (任・臨)	3	中学部	4	0	4	8	0	
	非常勤 講師	2							
高等部	教諭	2	高等部	5	1	0	1	1	
	教諭 (任・臨)	1							
	非常勤 講師	0							
計		16	計	12	1	4	13	1	31

2 部（クラブ）の加入状況

中学部

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		0	0		0
男子	1年	0	0	7	7
	2年	0	0	5	5
	3年	0	0	5	5
	計(A)	0	0	17	17
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	100%
女子	1年	0	0	5	5
	2年	0	0	2	2
	3年	0	0	4	4
	計(A)	0	0	11	11
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	100%
合計	(A+B)	0	0	28	28
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	100%

高等部

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		0	0	—	0
男子	1年	0	0	8	8
	2年	0	0	6	6
	3年	0	0	7	7
	計(A)	0	0	21	21
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	100%
女子	1年	0	0	11	11
	2年	0	0	2	2
	3年	0	0	7	7
	計(B)	0	0	20	20
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	100%
合計	(A+B)	0	0	41	41
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%	100%

3 障害別児童生徒数

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学級数
小学部	単一障害	0	1	0	3	1	3	8	4
	肢体重複	8	8	4	8	7	10	45	18
	合 計	8	9	4	11	8	13	53	22
中学部	単一障害	4	0	2	/	/	/	6	2
	肢体重複	8	7	7	/	/	/	22	9
	合 計	12	7	9	/	/	/	28	11
高等部	単一障害	2	2	0	/	/	/	4	2
	肢体重複	17	6	14	/	/	/	37	13
	合 計	19	8	14	/	/	/	41	15
病弱 小学部	単一障害	0	1	1	0	0	0	2	1
	病弱重複	0	0	0	1	0	0	1	2
	合 計	0	1	1	1	0	0	3	3
病弱 中学部	単一障害	0	0	1	/	/	/	1	1
	病弱重複	2	2	0	/	/	/	4	3
	合 計	2	2	1	/	/	/	5	4
訪問小学部		0	4	0	0	1	2	7	2
訪問中学部		1	6	9	/	/	/	16	4
訪問高等部		1	2	5	/	/	/	8	3

4 起因疾患別児童生徒数

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	脳性 まひ	その他 の脳性 疾患	脊髄及び 脊髄疾患	筋原性 及び 骨系疾患	骨関節 疾患	病弱	てんかん	その他	計
小学部	15	7	2	1	1	2	3	22	53
中学部	14	0	4	1	1	0	0	8	28
高等部	10	13	1	1	2	1	1	12	41
病弱小学部	0	0	0	0	0	0	3	0	3
病弱中学部	2	0	0	0	0	0	3	0	5
訪問小学部	0	2	0	0	0	0	0	5	7
訪問中学部	1	0	0	0	0	0	0	15	16
訪問高等部	3	3	0	0	0	0	2	0	8
計	45	25	7	3	4	3	12	62	161

特別支援学校における生産物売払調

令和7年度

(令和7年9月30日現在)

主な生産品目			
7 年 度	<布製品>		
	① 売払金額	0 円	②前年度との差額
6 年 度	<布製品> ポーチ、くるみボタン		
	① 売払金額	54,880 円	② 前年度との差額
5 年 度	<布製品> ポーチ、くるみボタン		
	① 売払金額	42,050 円	②前年度との差額

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行 流通センター支店	無利息型 普通預金	205014	静岡県立中央特別支援学校 資金前渡者 校長 高橋 和彦	25,000	教職員給料・交際費 資金前渡金受領用
静岡銀行 流通センター支店	無利息型 普通預金	205025	(自振口)静岡県立中央特別支援学校 資金前渡者 校長 高橋 和彦	0	光熱水費等口座振替用
静岡銀行 流通センター支店	普通預金	46735	静岡県立中央特別支援学校 就学奨励費 代理受領者 高橋 和彦	0	児童・生徒就学奨励費 受領用
残高合計				25,000	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						差引現在高		摘要
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	5円券	20	100	0	0	5	25	15	75	1	5	16	80	0	0	通信連絡用
	10円券	18	180	0	0	16	160	2	20	12	120	13	130	1	10	通信連絡用
	26円券	0	0	14	364	6	156	8	208	1	26	9	234	0	0	通信連絡用
	50円券	20	1,000	0	0	10	500	10	500	0	0	10	500	0	0	通信連絡用
	84円券	61	5,124	0	0	53	4,452	8	672	0	0	8	672	0	0	通信連絡用
	100円券	23	2,300	0	0	1	100	22	2,200	0	0	22	2,200	0	0	通信連絡用
	110円券	0	0	40	4,400	28	3,080	12	1,320	30	3,300	21	2,310	21	2,310	通信連絡用
	120円券	17	2,040	0	0	13	1,560	4	480	0	0	3	360	1	120	通信連絡用
	レターバック ライト 430円	0	0	1	430	1	430	0	0	0	0	0	0	0	0	通信連絡用
計		/	10,744	/	5,194	/	10,463	/	5,475	/	3,451	/	6,486	/	2,440	
iTunesカード	1,000円券	2	860	0	0	0	0	2	860	0	0	0	0	2	860	iPad用アプリ購入用
	3,050円券	1	3,050	0	0	0	0	1	3,050	0	0	0	0	1	3,050	iPad用アプリ購入用
	10,000円券	5	1,810	0	0	2	0	5	1,810	0	0	0	0	5	1,810	iPad用アプリ購入用
計		/	5,720	/	0	/	0	/	5,720	/	0	/	0	/	5,720	

材 料 品 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						摘要		
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
布	0	0	10	11,875	10	11,875	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	/	0	/	11,875	/	11,875	/	0	/	0	/	0	/	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)			
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,806,420	2,979,020	/	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	31,309,190	30,916,336		
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	21,067,728	21,197,088		
計					54,183,338	55,092,444	0	
(14) 工事 請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	4,147,000	0	/	
	計					4,147,000		0
(16) 公有財産 購入費						0	0	/
	計					0	0	
(17) 備品 購入費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	586,740	/	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,121,890	2,643,106		
	計					1,121,890		3,229,846
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0	/	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	4,826,290	4,813,164		
	計					4,826,290		4,813,164
(21) 補償、補填及 び賠償金						0	0	/
	計					0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
						うち、5年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	/	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	13,557,005		
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	8,851,370		
計					22,408,375	0	
(14) 工事 請負費						0	/
	計					0	
(16) 公有財産 購入費						0	/
	計					0	
(17) 備品 購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	/	
	計						0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	661,600	/	
	計						661,600
(21) 補償、補填及 び賠償金						0	/
	計					0	

委 託 料 に 関

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約締 結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
1	電気工作物等 保守点検業務	株式会社 静岡建物 サービス	429,000	429,000	0	429,000	随 契
2	便所清掃業務	株式会社 総合美装 ワタナベ	972,400	903,100	0	903,100	随 契
3	スクールバス 運行管理業務	株式会社 KSドライ バーサポ ート	56,494,900	45,738,000	0	45,738,000	一 般
4	給食業務	株式会社 ユアーズ 静岡	62,951,856	62,700,000	0	62,700,000	随 契
5	消防用設備等 保守点検業務	旭産業株 式会社	4,193,200	4,070,000	0	4,070,000	一 般

す る 調

(令和6年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
自6.4.1 至7.3.31	6.5.31	29,700	電気設備点検業務月1回 絶縁測定、接地抵抗測定業務 年1回	随契1号 (少額)
	6.28	29,700		
	7.31	29,700		
	8.30	29,700		
	9.30	102,300		
	10.30	29,700		
	11.29	29,700		
	12.26	29,700		
	7.1.31	29,700		
	2.28	29,700		
	3.31	29,700		
	4.30	29,700		
	小計	429,000		
自6.4.25 至7.3.31	6.5.31	18,150	便所清掃業務年42回 対象設備：15箇所 尿石除去業務年1回 対象設備：小便器23基 大便器56基	随契1号 (少額)
	6.28	72,600		
	7.31	72,600		
	8.30	72,600		
	9.30	158,950		
	10.31	72,600		
	11.29	90,750		
	12.26	72,600		
	7.1.31	54,450		
	2.28	72,600		
	3.31	72,600		
	4.30	72,600		
	小計	903,100		
自6.4.1 至9.3.31	6.5.31	1,270,500	児童・生徒の通学時の送迎及 び校外活動送迎、県有スクー ルバス車両の管理業務 対象車両：しらさぎ号 せきれい号 かるがも号	3長期
	6.28	1,270,500		
	7.31	1,270,500		
	8.30	1,270,500		
	9.30	1,270,500		
	10.31	1,270,500		
	11.29	1,270,500		
	12.26	1,270,500		
	7.1.31	1,270,500		
	2.28	1,270,500		
	3.31	1,270,500		
	4.25	1,270,500		
	小計	15,246,000		
自5.8.1 至8.7.31	支出済累計額	(13,933,128)	学校給食及び寄宿舎舎食の学 校の計画に基づく調理・配膳	5長期 随契8号 (不調)
	6.5.31	1,741,674		
	6.28	1,741,674		
	7.31	1,741,674		
	8.30	1,741,674		
	9.30	1,741,674		
	10.31	1,741,674		
	11.29	1,741,674		
	12.26	1,741,674		
	7.1.31	1,741,674		
	2.28	1,741,674		
	3.31	1,741,674		
	4.25	1,741,674		
小計	20,900,088			
自6.4.1 至7.3.31	6.10.31	3,100,680	消防設備点検 外観点検、機器点検 年2回 総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	静岡視覚・静岡聴 覚・静岡北・静岡 南部・各特別支援 学校
	7.4.30	969,320		
	小計	4,070,000		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約締 結方法
				当初額	変更増減額	計	
			円 35,005,850	円 32,549,000	円 0	円 32,549,000	
6	通学バス輸送 業務	日本平自動 車株式会社		11,682,000	0	11,682,000	一 般
7	産業廃棄物 (不燃物等) 収集運搬及び 処分業務	株式会社総 合美装 ワタナベ	129,030	129,030	△ 15,400	113,630	随 契
8	厨房グリス ト ラップ清掃、 収集運搬業務	グリーン・ シャワー株 式会社	99,000	99,000	0	99,000	随 契
9	厨房グリス ト ラップ汚泥処 分処理業務	静和エンバ イロメント 株式会社	44,000	44,000	0	44,000	随 契
10	産業廃棄物 (乾電池) 収 集運搬及び処 分業務	株式会社静 岡資源	69,124	69,124	0	69,124	随 契
11	産業廃棄物 (蛍光管) 収 集運搬及び処 分業務	株式会社静 岡資源	80,652	80,652	0	80,652	随 契
12	産業廃棄物 (不燃物等) 収集運搬及び 処分業務	株式会社総 合美装 ワタナベ	129,250	129,250	0	129,250	随 契
13	厨房グリス ト ラップ清掃、 収集運搬業務	グリーン・ シャワー株 式会社	110,000	110,000	0	110,000	随 契
14	厨房グリス ト ラップ汚泥処 分処理業務	静和エンバ イロメント 株式会社	44,000	44,000	0	44,000	随 契
15	建築基準法第 12条に基づく 外壁全面打診 調査業務	株式会社ナ カノ工房	941,600	941,600	0	941,600	随 契
	事務関係計 (工事関係)	15件					
16	有害物質含有 調査業務	株式会社サ イエンス	237,600	231,000	0	231,000	随 契
	工事関係計	1件					
	合 計	16件					

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
自4.7.1 至7.3.31	支出済累計額	円 (20,867,000)	児童・生徒の通学時の送迎 運行台数：1台	4長期
	6.5.31	973,500		
	6.28	973,500		
	7.31	973,500		
	8.30	973,500		
	9.30	973,500		
	10.31	973,500		
	11.29	973,500		
	12.26	973,500		
	7.1.31	973,500		
	2.28	973,500		
3.31	973,500			
4.25	973,500			
	小計	11,682,000		
自6.7.16 至6.8.30	6.8.30	113,630	産業廃棄物（不燃物等）の収集運搬及び処分業務	随契1号 （少額）
自6.8.22 至6.9.30	6.9.11	99,000	厨房グリストラップの清掃及びそれに伴い排出する汚泥の収集運搬	随契1号 （少額）
自6.8.22 至6.9.30	6.9.24	44,000	厨房グリストラップより排出された汚泥の処分	随契1号 （少額）
自6.9.18 至6.10.31	6.10.25	69,124	産業廃棄物（乾電池）の収集運搬及び処分業務	随契1号 （少額）
自6.11.25 至6.12.27	6.12.26	80,652	産業廃棄物（蛍光管）の収集運搬及び処分業務	随契1号 （少額）
自7.3.3 至7.3.31	7.4.25	129,250	産業廃棄物（不燃物等）の収集運搬及び処分業務	随契1号 （少額）
自7.3.21 至7.3.31	7.4.14	110,000	厨房グリストラップ、シンク配管の清掃及びそれに伴い排出する汚泥の収集運搬	随契1号 （少額）
自7.3.21 至7.3.31	7.4.14	44,000	厨房グリストラップより排出された汚泥の処分	随契1号 （少額）
自7.2.17 至7.3.21	7.4.18	941,600	採取検体の分析による既存建築物の建材の有害物質含有状況調査	随契1号 （少額）
		54,861,444		
自6.7.10 至6.8.9	6.9.11	231,000	採取検体の分析による既存建築物の建材の有害物質含有状況調査	随契1号 （少額）
		231,000		
		55,092,444		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約締 結方法
				当初額	変更増減額	計	
参考 1	ガスヒートポンプ点検業務	株式会社ユアーズ静岡	円	円 2,409,000	円 0	円 2,409,000	
参考 2	防鼠防虫業務委託	株式会社総合美装ワタナベ	円	円 347,000	円 0	円 347,000	
参考 3	可燃物収集運搬処分業務	株式会社静岡清掃企業	円	円 運搬料1回 15,950円 処分料1kg 11円	円 0	円 運搬料1回 15,950円 処分料1kg 11円	
参考 4	エレベーター保守点検業務	ジャパンエレベーターサービス神奈川株式会社	円	円 607,200	円 0	円 607,200	
参考 5	警備業務	エスピトーム株式会社	円	円 11,088,000	円 42,900	円 11,130,900	
参考 6	警備業務	エスピトーム株式会社	円	円 12,999,360	円 0	円 12,999,360	
参考 7	給食可燃物収集運搬処分業務	株式会社荒井産業	円	円 運搬料1回 1,540円 処分料1kg 4～7月11円 8～3月15円	円 0	円 運搬料1回 1,540円 処分料1kg 4～7月11円 8～3月15円	
参考 8	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	合同会社石橋剛設計事務所	円	円 3,850,000	円 0	円 3,850,000	
参考 9	プール浄化装置保守点検業務委託	大学産業株式会社	円	円 739,200	円 0	円 739,200	
	計	9件					

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
自6.5.22 至7.3.31		円	ガスヒートポンプ設備の点検調整業務	静岡高等学校
自6.7.8 至7.3.31			学校給食設備の防鼠・防虫駆除	清水特別支援学校
自6.4.5 至7.3.31			可燃物収集・運搬・処分業務 年間回収回数135回	静岡農業高等学校
自6.4.1 至7.3.31			エレベーター保守点検 定期点検 月1回 法定点検 年1回	静岡商業高等学校
自元.10.1 至6.9.30			警報機器の整備、機器による「異常」の有無監視及び対処	駿河総合高等学校
自6.10.1 至11.9.30			警報機器の整備、機器による「異常」の有無監視及び対処	駿河総合高等学校
自6.4.8 至7.3.31			給食可燃物収集・運搬・処分業務 年間回収回数115回	静岡北特別支援学校
自6.8.13 至7.1.31			建築基準法第12条に基づく建築及び建築設備の定期点検業務、点検結果資料の作成	静岡商業高等学校
自6.4.15 至6.11.15			プール浄化装置保守点検業務	静岡西高等学校

委 託 料 に 関

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約締 結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
1	電気工作物等 保守点検業務	株式会社 静岡ダイケ ン	446,600	446,600	0	446,600	随 契
2	便所清掃業務	株式会社 総合美装 ワタナベ	998,030	926,200	0	926,200	随 契
3	スクールバス 運行管理業務	株式会社 K S ドライ バーサポ ート	56,494,900	45,738,000	0	45,738,000	一 般
				15,246,000	0	15,246,000	
4	給食業務	株式会社 ユアーズ静 岡	62,951,856	62,700,000	0	62,700,000	随 契
				20,900,088	0	20,900,088	
5	消防用設備等 保守点検業務	旭産業株 式会社	4,193,200	4,125,000	0	4,125,000	一 般
6	通学バス輸 送業務	日本平自 動車株式 会社	46,594,625	45,940,510	0	45,940,510	随 契
				15,313,452	0	15,313,452	
7	県立学校医 療的ケア児 就学支援 事業訪問 看護業務	株式会社 あおむし	402,600	医療ケア1時 間 5,500円 交通費1日 550円	0	医療ケア1時 間 5,500円 交通費1日 550円	随 契
8	厨房グリス トランプ清 掃、収集 運搬業務	グリーン・ シャワー 株式 会社	99,000	99,000	0	99,000	随 契
9	厨房グリス トランプ汚 泥処分 処理業務	静和エン バイロメ ント株 式会社	44,000	44,000	0	44,000	随 契
	事務関係計	9 件					
	合 計	9 件					

す る 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
自7.4.1 至8.3.31	7.5.30	円 30,800	電気設備点検業務月1回 絶縁測定、接地抵抗測定業務 年1回	随契1号 (少額)
	6.30	30,800		
	7.31	30,800		
	8.29	30,800		
	9.30	107,800		
	小計	231,000		
自7.4.24 至8.3.31	7.5.30	18,700	便所清掃業務年42回 対象設備：15箇所 尿石除去業務年1回 対象設備：小便器23基 大便器56基	随契1号 (少額)
	6.30	74,800		
	7.31	74,800		
	8.29	215,600		
	9.30	18,700		
	小計	402,600		
自6.4.1 至9.3.31	支出済累計額	(15,246,000)	児童・生徒の通学時の送迎及 び校外活動送迎、県有スクー ルバス車両の管理業務 対象車両：しらさぎ号 せきれい号 かるがも号	3長期
	7.5.30	1,270,500		
	6.30	1,270,500		
	7.31	1,270,500		
	8.29	1,270,500		
	9.30	1,270,500		
小計	6,352,500			
自5.8.1 至8.7.31	支出済累計額	(34,833,216)	学校給食及び寄宿舎舎食の学 校の計画に基づく調理・配膳	5長期 随契8号 (不調)
	7.5.30	1,741,674		
	6.30	1,741,674		
	7.31	1,741,674		
	8.29	1,741,674		
	9.30	1,741,674		
小計	8,708,370			
自7.4.1 至8.3.31			消防設備点検 外観点検、機器点検 年2回 総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	静岡視覚・静岡聴 覚・静岡北・静岡 南部・各特別支援 学校
	小計	0		
自7.4.1 至10.3.31	7.5.30	1,276,121	児童・生徒の通学時の送迎 運行台数：1台	5長期 随契8号 (不調)
	6.30	1,276,121		
	7.31	1,276,121		
	8.29	1,276,121		
	9.30	1,276,121		
	小計	6,380,605		
自7.6.13 至8.3.31	7.7.31	33,550	当該生徒の在校中の医療的ケア の実施	随契1号 (少額)
	7.7.31	156,750		
	小計	190,300		
自7.8.1 至7.9.30	7.8.21	99,000	厨房グリストラップの清掃及 びそれに伴い排出する汚泥の 収集運搬	随契1号 (少額)
自7.8.1 至7.9.30	7.9.12	44,000	厨房グリストラップより排出 された汚泥の処分	随契1号 (少額)
		22,408,375		
		22,408,375		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約締 結方法
				当初額	変更増減額	計	
参考 1	ガスヒートポ ンプ点検業務	株式会社ユ アーズ静岡	円	円 2,791,800	円 0	円 2,791,800	
参考 2	防鼠防虫業務委 託	株式会社総 合美装ワタ ナベ		444,000	0	444,000	
参考 3	可燃物収集運 搬処分業務	株式会社静 岡清掃企業		運搬料1回 18,000円 処分料1kg 15円	0	運搬料1回 18,000円 処分料1kg 15円	
参考 4	エレベーター 保守点検業務	ジャパンエレ ベーターサー ビス神奈川株 式会社		660,000	0	660,000	
参考 5	警備業務	エスピトー ム株式会社		12,999,360	0	12,999,360	
参考 6	給食可燃物収 集運搬処分業 務	株式会社荒 井産業		運搬料1回 静岡視覚 1,320円 中央特支 1,540円 静岡北特支 1,540円 処分料1kg 15円	0	運搬料1回 静岡視覚 1,320円 中央特支 1,540円 静岡北特支 1,540円 処分料1kg 15円	
参考 7	建築基準法第 12条に基づく 定期点検業務	N. concept 建築計画 二級建築士 事務所		3,520,000	0	3,520,000	
参考 8	プール浄化装 置保守点検業 務委託	三笠産業有 限会社		774,400	0	774,400	
	計	8件					

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
自7.5.26 至8.3.31		円	ガスヒートポンプ設備の点検 調整業務	静岡高等学校
自7.7.7 至8.3.31			学校給食設備の防鼠・防虫駆除	清水特別 支援学校
自7.4.7 至8.3.31			可燃物収集・運搬・処分業務 年間回収回数135回	静岡農業 高等学校
自7.4.1 至8.3.31			エレベーター保守点検 定期点検 月1回 法定点検 年1回	静岡商業 高等学校
自6.10.1 至11.9.30			警報機器の整備、機器による 「異常」の有無監視及び対処	駿河総合 高等学校
自7.4.9 至8.3.31			給食可燃物収集・運搬・処分 業務 年間回収回数 静岡視覚特支119回 中央特支118回 静岡北特支108回	静岡北特別 支援学校
自7.8.12 至8.1.30			建築基準法第12条に基づく建 築及び建築設備の定期点検業 務、点検結果資料の作成	静岡商業 高等学校
自7.4.14 至7.11.28			プール浄化装置保守点検業務	静岡西高等学校

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会会費	静岡中央地区安全運転管理協会	規約による	安全運転管理に関する啓発及び広報、研修会等の開催、調査及び研究	12,000	R6.4.25
2	全国高等学校長協会会費	全国高等学校長協会	規約による	高等学校等の教育の振興、教育に関する研究調査、建議・要望又は意見の公表	160,000	R6.4.23
3	全国特別支援学校長会会費	全国特別支援学校長会	会則による	特別支援学校に関する教育の課題についての協議研究と特別支援教育の振興	200,000	R6.5.31
4	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会	会則による	肢体不自由児の教育・学校管理運営に関する調査研究	4,500	R6.6.28
5	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会会費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会	規約による	肢体不自由教育の振興、充実、改善の推進、教育上の調査研究	8,000	R6.6.21
6	全国高等学校長協会特別支援学校部会会費	全国高等学校長協会特別支援学校部会	規約による	特別支援教育の振興、教育上の調査研究並びに特別支援教育への世論喚起	40,000	R6.7.12
7	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会	会則による	肢体不自由児の教育・学校管理運営に関する調査研究	15,000	R6.8.6
8	全国高等学校教頭・副校長会会費	全国高等学校教頭・副校長会	規約による	高等学校教育の進展に資する学校運営のための調査・研究	90,000	R6.9.30
9	全国公立高等学校事務職員協会会費	全国公立高等学校事務職員協会	会則による	学校経営と事務管理に関する研究、研究大会の開催	62,500	R6.10.25
10	東海地方公立高等学校事務職員研究協議会負担金	東海地方公立高等学校事務職員研究協議会	会則による	教育事務の研究刷新、事務効率増進	12,500	R6.11.8
11	静岡県立こども病院設備管理保守負担金	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	覚書による	電気・ガス・衛星・空調の各施設について、こども病院分と学校分が中央監視されており、設備共用部分についての管理運営の費用を双方で負担	3,547,904	R7.4.24
12	静岡てんかん・神経医療センター施設等使用負担金	独立行政法人国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター	覚書による	独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター内で運営する病弱学級（院内学級）において使用する電気料及び水道料の一部を負担	568,260	R7.4.30
13	会議参加等負担金	4件		内訳別途資料のとおり	92,500	
計		13件			4,813,164	

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会会費	静岡中央地区安全運転管理協会	規約による	安全運転管理に関する啓発及び広報、研修会等の開催、調査及び研究	12,000	R7.4.23
2	全国高等学校長協会会費	全国高等学校長協会	規約による	高等学校等の教育の振興、教育に関する研究調査、建議・要望又は意見の公表	200,000	R7.4.30
3	全国特別支援学校長協会会費	全国特別支援学校長協会	会則による	特別支援学校に関する教育の課題についての協議研究と特別支援教育の振興	200,000	R7.5.22
4	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭協会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭協会	会則による	肢体不自由児の教育・学校の実地管理運営に関する調査研究	4,500	R7.6.25
5	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長協会会費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長協会	規約による	肢体不自由教育の振興、充実、改善の推進、教育上の調査研究	8,000	R7.7.11
6	全国特別支援学校肢体不自由教育校長協会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育校長協会	会則による	肢体不自由児の教育・学校の実地管理運営に関する調査研究	15,000	R7.7.14
7	全国高等学校長協会特別支援学校部会会費	全国高等学校長協会特別支援学校部会	規約による	特別支援教育の振興、教育上の調査研究並びに特別支援教育への世論喚起	40,000	R7.7.18
8	全国高等学校教頭・副校長協会会費	全国高等学校教頭・副校長協会	規約による	高等学校教育の進展に資する学校運営のための調査・研究	90,000	R7.9.16
9	会議参加等負担金	6件		内訳別途資料のとおり	92,100	
計		14件			661,600	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
	(参考)						
1	教育管理費 工事請負費 (県単)	令和7年度 [第37-Z2426-01 号] 中央特別支援学校 管理教室棟トイレ 排水管更新他工事	静岡市葵区 漆山地内	円 12,450,000	円 12,100,000	円 0	円 12,100,000
		合 計	1 件	12,450,000	12,100,000	0	12,100,000

令和6年度中は該当なし

事 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成 (予定)年 月日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘 要
			円			
指名	日将株式会社	7. 7. 10 7. 10. 24	4,840,000	管理教室棟及び管理棟のトイレ排水管を更新する工事	—	本庁経理 財務部 設備課
			4,840,000			

公有財産調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日 現在		増		減		令和7年3月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳 価格 千円	数量又は面積	台帳 価格 千円	数量又は面積	台帳 価格 千円	数量又は面積	台帳 価格 千円	
行政財産	/	155,843	/	0	/	19,744	/	136,099	
立木竹	98本	2,280					98本	2,280	
建物	6,157.74㎡ 9,184.20㎡	25,661				10,220	6,157.74㎡ 9,184.20㎡	15,441	減は価格改定
工作物	91個	127,902				9,524	91個	118,378	減は価格改定
公有財産に準ずるもの	/	193	/	0	/	0	/	193	
電話加入権	4件	193					4件	193	

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

区分	令和7年3月31日 現在		増		減		令和7年9月30日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳 価格 千円	数量又は面積	台帳 価格 千円	数量又は面積	台帳 価格 千円	数量又は面積	台帳 価格 千円	
行政財産	/	136,099	/	0	/	42	/	136,057	
立木竹	98本	2,280			4本	42	94本	2,238	
建物	6,157.74㎡ 9,184.20㎡	15,441					6,157.74㎡ 9,184.20㎡	15,441	
工作物	91個	118,378					91個	118,378	
公有財産に準ずるもの	/	193	/	0	/	0	/	193	
電話加入権	4件	193					4件	193	

借地借家等調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	借料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	静岡市葵区漆山777	学校用地	学校用地	19,029.00㎡	円	無償	6. 4. 1 11. 3. 31	地方独立行政法人静岡県立病院機構	学校敷地
2	土地	架橋敷地	静岡市葵区漆山719-2	普通河川	普通河川	99.50㎡	円	無償	5. 4. 1 10. 3. 31	静岡市長	通行のための架橋
3	建物	事務所建	静岡市葵区漆山886	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	借受 442.30㎡ 延べ 30,777.90㎡	円	無償	7. 4. 1 8. 3. 31	独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター院長	病弱学級 (院内学級) 運営
	計					19,570.80㎡		0円			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年9月30日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)						
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
長期 継続 契約	給食業務	学校給食及び寄宿舎舎食の学校の計画に基づく調理・配膳 (契約日)5.7.31	62,700,000			13,933,128	20,900,088	20,900,088	6,966,696	
	スクールバス運行管理業務	スクールバス3台の運転・管理業務 (契約日)6.4.1	45,738,000				15,246,000	15,246,000	15,246,000	
	通学バス輸送業務	児童・生徒の通学時の送迎 (バス1台) (契約日)4.6.20	32,549,000		9,185,000	11,682,000	11,682,000			
	通学バス輸送業務	児童・生徒の通学時の送迎 (バス1台) (契約日)7.4.1	45,940,510					15,313,452	15,313,452	15,313,606

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目	数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許 可を受けた者の 氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳 現況		単価	年額			
1	建物	事務 所建	静岡市葵区 漆山777	鉄筋コンク リート造陸 屋根	0.03㎡		円 円 免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡市長	防災行政無線 戸別受信機設 置
合計					0.03㎡					

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	02-02	放 送 装 置	非常放送機 WL7050/360	非常時の放送連絡に使用	平成 9. 11	2,698,500
2	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式	授業及び事務処理のため毎日使用 (年間250日)	平成 13. 3	2,289,000
3	01-13	調 理 器 具	コンベクションオープン	給食調理のため毎日使用 (年間190日程度)	平成 19. 9	1,995,000
4	06-09	木 工 用 機 械	自動一面かんな盤 1010 × 900 × 1065	授業・校内修理のため使用 (年間150日程度)	平成 24. 3	1,709,400
5	01-01	平 机	会議用机 TNR 268ELR	会議のため毎日使用 (年間200日)	平成 8. 1	1,545,000
6	01-14	エアコンディショナー	天井吊形ツイン同時マルチ型	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 19. 3	1,535,100
7	01-14	エアコンディショナー	天井吊形ツイン同時マルチ型	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 21. 7	1,522,500
8	01-14	ガスヒートポンプ式 冷暖房機	GHP式天井吊形ツイン同時 マルチ型	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 20. 6	1,470,000
9	01-14	エアコンディショナー	天井吊形ツイン同時マルチ型	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 15. 12	1,459,500
10	01-14	エアコンディショナー	天井吊形ツイン同時マルチ型	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 15. 3	1,449,000
11	01-14	エアコンディショナー	天井吊形ツイン同時マルチ型	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 15. 8	1,449,000
12	01-14	エアコンディショナー	天井吊形	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 17. 3	1,426,950
13	02-02	放 送 装 置	校内放送装置	生徒放送の都度使用	平成 9. 3	1,289,085
14	01-13	その他の厨房器具	消毒保管機	給食用食器保管のため毎日使用 (年間190日程度)	平成 23. 3	1,260,000
15	06-04	発電気電動機	発電気電動機DCA-13LS 三相単相切替式200V	非常用として常時使用	平成 24. 3	1,186,500
16	02-02	放 送 装 置	体育館放送装置	体育館での行事の都度使用	平成 8. 3	1,175,436
17	01-14	エアコンディショナー	天井吊形	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 19. 10	1,152,900
18	01-14	エアコンディショナー	天井吊形	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 18. 7	1,144,500
19	01-01	平 机	会議用机	校長室の会議、応接で毎日使用	平成 5. 3	1,143,300
20	01-14	エアコンディショナー	天井吊形	授業の際夏季、冬季は毎日使用 (年間100日程度)	平成 20. 3	976,500
21	01-13	食品食器洗浄機	食器洗浄機	給食調理のため毎日使用 (年間190日程度)	平成 22. 8	976,500

公務中の事故等に関する調

1 現金、財産及び占有動産の亡失・損傷事故

該当なし

2 公務災害（通勤災害を含む。）

該当なし

3 公務中における交通事故

(1) 発生状況

区 分	件 数	事故の内訳		
		加害事故 (過失割合50%超)	被害事故 (過失割合50%以下)	その他 (過失割合が不明なもの等)
令和4年度	0件	0件	0件	0件
令和5年度	0件	0件	0件	0件
令和6年度	0件	0件	0件	0件
令和7年度	0件	0件	0件	0件

(2) 監査対象期間中の事故

該当なし

4 その他

該当なし

工事中の事故に関する調

1 工事中の事故発生状況（年度単位で記載する）

（令和7年9月30日 現在）

区分	第三者事故					工事等の関係者事故				もらい事故	
	件数	死亡	重傷	軽傷	損害のみ	件数	死亡	重症	重症以外	件数	死傷
令和5年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人
令和6年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人
令和7年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校長	高橋 和彦		□□□	□年□月	□□□ □□□
2	副校長	大石 真未		□□□	□年□月	□□□ □□□
3	教頭	井鍋 恭子		□□□	□年□月	□□□ □□□
4	事務長	加藤 等		□□□	□年□月	□□□ □□□
5	教諭	藤原 修	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
6	教諭	望月 美保子	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
7	教諭	中山 欣子	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
8	教諭	赤羽 睦子	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
9	教諭	塚本 裕子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
10	教諭	仁科 仁美	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
11	教諭	渡部 仁乃	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
12	教諭	望月 規男	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
13	教諭	中島 久美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
14	教諭	鈴木 良昌	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
15	教諭	市川 靖敏	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
16	教諭	美尾 陽子	訪問・病弱主任	□□□	□年□月	□□□ □□□
17	教諭	深澤 美樹	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
18	教諭	阿部 理抄	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
19	教諭	梅田 祐子	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
20	教諭	揚張 哲弥	高等部主事	□□□	□年□月	□□□ □□□
21	教諭	柳田 智恵子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
22	教諭	鈴木 雅義	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
23	教諭	藤原 あや	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
24	教諭	篠原 禎治	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
25	教諭	末澤 康至	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
26	教諭	江間 美千代	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
27	教諭	國宗 久男	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
28	教諭	豊田 香奈子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
29	教諭	秦 武司	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
30	教諭	高森 美穂	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
31	教諭	植田 佐知子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
32	教諭	小松 孝弘	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
33	教諭	鎌田 祥吾	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
34	教諭	永井 裕子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
35	教諭	佃 美穂	自立活動教諭	□□□	□年□月	□□□ □□□
36	教諭	横林 奈津美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
37	教諭	鶴田 奈緒美	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
38	教諭	田中 佳世	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
39	教諭	望月 葉子	中学部主事	□□□	□年□月	□□□ □□□
40	教諭	外山 真吾	小学部主事	□□□	□年□月	□□□ □□□
41	教諭	山中 希美	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
42	教諭	山本 良子	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
43	教諭	峯山 育恵	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
44	教諭	中村 澄子	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
45	教諭	山田 勝之	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
46	教諭	木村 久美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
47	教諭	岩崎 友晴	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
48	教諭	小林 菜摘子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
49	教諭	西河 誠	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
50	教諭	三浦 良子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
51	教諭	岸本 舞	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
52	教諭	海野 考美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
53	教諭	伊藤 有希子	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
54	教諭	竹内 佳奈	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
55	教諭	外園 愛梨	自立活動教諭	□□□	□年□月	□□□ □□□
56	教諭	村上 佳郁	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
57	教諭	原田 由香	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
58	教諭	熊澤 直輝	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
59	教諭	牧野 路子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
60	教諭	内藤 裕徳	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
61	教諭	紅林 恭兵	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
62	教諭	伊藤 里奈	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
63	教諭	松本 明日香	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
64	教諭	川瀬 温子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
65	教諭	齋藤 ちひろ	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
66	教諭	村松 菜々	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
67	教諭	小町 美江	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
68	教諭	小嶋 幸恵	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
69	教諭	堀 勇至	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
70	教諭	市脇 紅美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
71	教諭	須永 暢子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
72	教諭	栗田 瞳	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
73	教諭	赤堀 裕基	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
74	教諭	北河 知葉	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
75	教諭	横澤 真奈	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
76	教諭	滝本 里夏	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
77	教諭	古川 里菜	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
78	教諭	山中 茉美	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
79	教諭	小崎 健一	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
80	教諭	伊藤 歩美	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
81	教諭	高津 幸	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
82	教諭	濱口 円香	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
83	教諭	杉山 愛以	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
84	教諭	額田 悠希	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
85	教諭	宅和 沙紀	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
86	教諭	植田 康頌	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
87	教諭	望月 美乃里	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
88	教諭	原崎 祐香	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
89	教諭	簗 奈緒	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
90	教諭	紅林 久美子	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
91	教諭	櫻井 美成	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
92	教諭	安本 夏乃	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
93	教諭	塚本 健人	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
94	教諭	近藤 洋史	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
95	教諭	杉本 秀平	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
96	教諭	秋山 可南子	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
97	教諭	松村 拓馬	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
98	教諭	大友 結衣	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
99	教諭	森 郁佳	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
100	教諭	青島 摩子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
101	教諭	千葉 明穂	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
102	教諭	高安 陸	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
103	教諭	磯部 光里	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
104	教諭	西山 未萌沙	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
105	教諭	中田 懐仁	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
106	教諭	中村 杏佳	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
107	教諭	柴田 大輔	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
108	教諭	宮島 詩依	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
109	教諭	角屋 英一	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
110	教諭	芹澤 久訓	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
111	教諭	杉山 みずほ	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
112	教諭	木下 彩香	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
113	教諭	稀代 早紀	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
114	教諭	岡村 遼	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
115	教諭	橋本 佳奈	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
116	教諭	三原 颯太	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
117	教諭	松本 佳奈	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
118	教諭	安藤 花菜	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
119	教諭	小野田 綺更	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
120	教諭	久世 修吾	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
121	教諭	高橋 美羽	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
122	養護教諭	伊丹 佳奈	養護保健	□□□	□年□月	□□□ □□□
123	養護教諭	佐々木 悠里	養護保健	□□□	□年□月	□□□ □□□
124	主任寄指舎指導員	飯田 優子	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
125	主任寄指舎指導員	飛山 あゆみ	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
126	寄指舎指導員	河崎 浩幸	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
127	寄指舎指導員	森 貴司	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
128	寄指舎指導員	足木 優彦	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
129	寄指舎指導員	小杉 泰紀	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
130	寄指舎指導員	望月 湊子	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
131	寄指舎指導員	望月 一輝	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
132	主査	梅林 美佐緒	事務	□□□	□年□月	□□□ □□□
132	主査	有渡山 健雄	事務	□□□	□年□月	□□□ □□□
134	主任	鎌倉 梨沙	事務	□□□	□年□月	□□□ □□□
135	主任	滝口 泉	給食	□□□	□年□月	□□□ □□□
平均年数					□年□月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	藤浪 礎之子	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
2	教諭(任)	小林 庸子	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
3	教諭(任)	松永 佳代子	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
4	教諭(任)	森本 亜矢乃	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
5	教諭(任)	丹所 裕可	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
6	教諭(任)	星 慎一郎	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
7	教諭(任)	望月 敬未	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
8	教諭(任)	青柳 匠	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
9	教諭(任)	左右田 一矢	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
10	教諭(臨)	澤入 高志	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
11	教諭(臨)	小野田 三四郎	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
12	教諭(臨)	小松 和義	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
13	教諭(臨)	伊藤 宏美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
14	教諭(臨)	松下 三恵子	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
15	教諭(臨)	渋谷 亜樹	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
16	教諭(臨)	加藤 和樹	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
17	教諭(臨)	福島 和美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
18	教諭(臨)	山田 悦代	小学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
19	教諭(臨)	土田 温梓	高等部	□□□	□年□月	□□□ □□□
20	教諭(臨)	山口 可鈴	中学部	□□□	□年□月	□□□ □□□
21	教諭(臨)	米倉 亜紀	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
22	教諭(臨)	海野 真美	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
23	寄指舎指導員(臨)	田中 浩洋	寄宿舎寮務	□□□	□年□月	□□□ □□□
24	非常勤講師	加藤 友紀	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
25	非常勤講師	白瀧 夏子	訪問教育	□□□	□年□月	□□□ □□□
26	非常勤講師	増田 和子	社会人活用	□□□	□年□月	□□□ □□□
27	非常勤労務職員	鈴木 真由美	校内介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
28	非常勤労務職員	井上 由和子	校内介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
29	非常勤労務職員	加藤 悦子	校内介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
30	非常勤労務職員	榎本 哲三	校内介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
31	非常勤労務職員	増本 桃子	校内介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
32	非常勤労務職員	横尾 敦子	スクールバス添乗介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
33	非常勤労務職員	松永 智恵	スクールバス添乗介助	□□□	□年□月	□□□ □□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
34	非常勤労務職員	大村 嘉樹	スクールバス添乗介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
35	非常勤労務職員	武田 菜保子	スクールバス添乗介助	□□□	□年□月	□□□ □□□
36	非常勤労務職員	望月 秋雄	用務	□□□	□年□月	□□□ □□□
37	非常勤労務職員	武田 禎子	用務	□□□	□年□月	□□□ □□□
38	非常勤嘱託員	志村 いずみ	事務補助	□□□	□年□月	□□□ □□□
39	医療的ケア看護職員	足立 理咲子	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
40	医療的ケア看護職員	杉山 慶子	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
41	医療的ケア看護職員	稲葉 真希	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
42	医療的ケア看護職員	平松 珠見	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
43	医療的ケア看護職員	田村 秀美	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
44	医療的ケア看護職員	小林 なつ美	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
45	医療的ケア看護職員	小林 真穂	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
46	医療的ケア看護職員	塚本 秀子	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
47	医療的ケア看護職員	良知 理香	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
48	医療的ケア看護職員	山本 宜子	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
49	医療的ケア看護職員	尾関 裕子	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
50	医療的ケア看護職員	金本 亜季	看護師	□□□	□年□月	□□□ □□□
51	スクールカウンセラー	浜部 和子	スクールカウンセラー	□□□	□年□月	□□□ □□□
52	健康管理医	山倉 慎二		□□□	□年□月	□□□ □□□
53	校 医	松林 朋子	内科	□□□	□年□月	□□□ □□□
54	校 医	羅 錦營	眼科	□□□	□年□月	□□□ □□□
55	校 医	橋本 亜矢子	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□ □□□
56	校 医	藤塚 秀樹	歯科	□□□	□年□月	□□□ □□□
57	薬剤師	上妻 充恵	薬剤師	□□□	□年□月	□□□ □□□

職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	23	
30歳以上40歳未満	51	
40歳以上50歳未満	29	
50歳以上56歳未満	17	
56歳以上61歳未満	12	
61歳以上	3	再任用フル2人
計	135	平均年齢 39.9歳

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容				
受 診 状 況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; border-bottom: 1px solid black;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">131 人</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">職員数</td> <td style="text-align: right;">134 人</td> </tr> </table>	受診者数	131 人	職員数	134 人
受診者数	131 人				
職員数	134 人				
受 診 率	100.0 %				
県平均受診率	100.0 %				

(1) 未受診の理由

産休・育休 3人

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		□ 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	□ 人
B 2		要経過観察	□ 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	□ 人
C 2		要経過観察	□ 人
D1	平常の勤務でよい。	要治療	□(□) 人
D2		要経過観察	□(□) 人
D3		医療不要	□(□) 人
区分者計			□(□) 人
未区分者数			□(□) 人
合 計			□(□) 人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 3人
 イ 新規採用 4人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人
 ()